

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】令和5年3月1日(2023.3.1)

【公開番号】特開2023-17855(P2023-17855A)

【公開日】令和5年2月7日(2023.2.7)

【年通号数】公開公報(特許)2023-024

【出願番号】特願2022-173490(P2022-173490)

【国際特許分類】

F 0 4 B 39/00(2006.01)

F 0 4 C 29/00(2006.01)

F 0 4 C 18/356(2006.01)

C 2 2 C 37/04(2006.01)

C 2 3 C 16/27(2006.01)

C 2 1 D 9/00(2006.01)

C 2 1 D 5/00(2006.01)

10

【F I】

F 0 4 B 39/00 A

F 0 4 C 29/00 U

F 0 4 C 18/356 W

C 2 2 C 37/04 C

C 2 3 C 16/27

C 2 1 D 9/00 A

C 2 1 D 5/00 T

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年2月20日(2023.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

30

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

密閉容器内に冷媒を圧縮する圧縮機構部と冷凍機油とを備える密閉型圧縮機であって、前記圧縮機構部は、相互に摺動する第1の部材と第2の部材とを備え、前記第1の部材は、鉄系金属からなる基材の表面にダイヤモンドライクカーボン膜を有し、

前記第2の部材は、マグネシウムを添加した鋳鉄から形成され、

前記第2の部材の前記鋳鉄は、0.02重量%以上0.1重量%以下の前記マグネシウム、および2.0重量%以上5.0重量%以下の炭素を少なくとも含み、残部が鉄である密閉型圧縮機。

40

【請求項2】

前記圧縮機構部は、ロータリー型圧縮機の圧縮機構部であることを特徴とする請求項1に記載の密閉型圧縮機。

【請求項3】

前記圧縮機構部は、内径部にシリンダ室を形成するシリンダと、前記シリンダ室内に設けられたローラと、先端部が前記ローラの外周面に押し付けられ前記シリンダ室を吸入領域と圧縮領域とに区画するブレードと、前記シリンダ室を貫通し前記ローラを偏心回転させるシャフトと、前記シリンダ室を閉鎖する閉鎖部材とを備え、前記第1の部材が前記ブ

50

レードであり、前記第 2 の部材が前記ローラである請求項 1 に記載の密閉型圧縮機。

【請求項 4】

前記冷凍機油は、極圧添加剤を含まないか、または 0 . 5 重量 % 以下の極圧添加剤を含む請求項 1 に記載の密閉型圧縮機。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 いずれか 1 項に記載の密閉型圧縮機と、放熱器と、膨張装置と、吸熱器とを備える冷凍サイクル装置。

10

20

30

40

50